

☆1☆冬期講習全講座内容紹介

～ I 期(12月)～

私大&世界史重視国公立受験者はここから2～3講座程度、世界史軽視国公立&センターのみ受験者はここから1講座の受講がベストである。

* 予習・復習方法は全てのテキスト内又は BIBLE 掲示板に掲載。テキスト入手後、すぐに内容を確認しよう！

① タテとヨコで見る世界史バイブル《テーマ史総整理》

“世界史受講者必須のテーマ史”です。

1年間学習してきた世界史を縦または横でまとめ、入試実践版に慣れることが狙いです。テキストには約50種類のテーマすべてを掲載、板書講義内ではこの45テーマ以外の重要&流行5テーマを1日1テーマずつ板書解説していきます。2学期の復習が終わってからの受講が望ましいでしょう。論述対策には最適なので、国公立2次論述がある人も必須と考えます。

* 5日間の講義スケジュール

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1日目:今ある民族・宗教紛争史 | 2日目:アメリカ社会史(先住民・黒人・移民・中南米史) |
| 3日目:内陸遊牧民族の世紀別全史 | 4日目:産業革命と近現代社会経済史(環境・核問題) |
| 5日目:東西交流史(3つの道)と通信・情報の歴史 | |

② 早慶上智世界史《high-level:講義編》

“世界史巧者用の high-level 世界史”です。

「早慶上智のための世界史」というより、「世界史を得点源とする世界史」と考えて下さい。

西洋史はアメリカ独立革命以降、東洋史は明・清・オスマン・ムガル帝国以降、戦後史を除く、近代～現代までの high-level 世界史です。基礎～標準レベルは、テキスト内に掲載されている「サブノート形式のパーフェクト世界史板書」の空所を埋めながら、2学期部分の復習をしてから講義に臨みましょう。

授業では、そのサブノートに high-level なポイントを追加していきながら、特に早慶上智等に出題される「自分では整理できない盲点ポイント」を板書にて解説・解析していきます。巻末に、近年の頻出問題を10問掲載してありますので、1日2問ずつ解説していきます。解答が付いていないので、必ずやってきてください。

③ 戦後史で今を知る世界史バイブル《1945年以降の各国史》

夏にやった冷戦・ヨーロッパ統合・朝鮮戦争・中華人民共和国史・ベトナム戦争・カンボジア内戦・中東問題の板書はテキスト内に掲載してあるので、復習で使って欲しい。講義ではそれ以外の地域を各国史で板書解説していきます。

テキスト内には大学生になっても愛用される入試良く出る国約120カ国の歴史データを掲載しているので、世界史巧者には間違いなく必要となるでしょう。また、志望学部で大問1問以上が毎年出題されている場合、

又は世界史でどうしても稼ぎたいという受験生、近現代史が必修となっている学部受験者は受講必須となるでしょう。基礎～標準レベルに力を入れねばいけない受験生は③の正誤対策救世主メシアの授業にある戦後史でまかなうと良いと思います。

*** 戦後史の出題率が高い大学の一覧(過去10年間の戦後史満点換算の出題率～**

青学(国際政治) 53% 明治 23% 慶應(経済・法) 22% 早稲田(文・文講除く) 19%
中央 18% 上智 17% 南山・関学 16% 立教 15% 同志社 12%

④ 正誤絶対克服！世界史最後の救世主《1年間総集編》

“冬期の地歴科で最も受講人数の多い講座(衛星・フレックスも含め)”です。1年間の通史&戦後史&文化史の全範囲全時代の総復習、約8割正誤問題を擁して、完全総復習していきます。

1学期の所が抜けている現役生、全体的に世界史を苦手とする受験生、センターで9割以上は確実に取りたい受験生(センター過去10年間のデータと予想も掲載)は毎年この講座が第一優先です。

偏差値60未満の人は絶対に受講し、足を引っ張らない世界史への最後の救世主となります。まさに、“メシア”なのです。また、ある程度できる人にとっては、自分の知識漏れの最終チェックの場ともなるでしょう。

予習100%で、授業は完全解説と入試出題方法などを紹介していきます。予習するのに5日間は必要となるので、それを考えて、受講するタイミングを決めましょう。

⑤ センター試験《近現代・戦後史・文化史・テーマ史編》

“苦しい世界史を勝負できる世界史まで引き上げる講座” “センターだけだからと、後回しにしてきて、今になって本当にヤバイと感じている受験生専用のセンター世界史講座”です。8割越え(偏差値 58 程度)をポイントとします。プリントも使用します。

* 夏期の戦後史>冬期の戦後史

* 文化史は冬期講習に入る前にフレックスで

* 正誤対策はセンター満点、センター世界史は80%越えを目指す

* 正誤対策は総復習に最高

～Ⅱ期(1月)～

自分の受験する学部の過去問だけをやればOKと思ったら大間違いです。かといって、すべての学部の過去問を買って、自分でやりこなすことなど無理です。そのための講座だ！と思って下さい。第1・2志望までの受講を勧めます。すべての予想問題演習のテキストには、6ヶ年全学部設問データ、頻出単元・地域・テーマ紹介、グラスノチ(必須用語・重要用語・盲点用語・ハイレベル用語)、2018年の予想問題(自作)を掲載してあります。1月の講義までにしっかりと使いこなしておくとは有意義な大学対策になることは間違いありません。早稲田対策・上智対策は、2年連続受講をお勧めします。演習に使う問題はすべて昨年と違うもの、プラス2016年度データを入れてあります。

① 早大世界史予想問題演習(4コマ)

18 年のグラスノチの重要部分の解説、合否の分かれ目となる難解正誤は 55 問自宅演習・講義内解説でマスター、最高のテキストと最高の中率で合格へ導きます。文学部・文化構想学部しか受験しないのであれば、配点から考え、他大学の対策授業を勧めます。

② 慶應大世界史予想問題演習(2コマ:衛星放送無し)

傾向性が強く、配点も高く、対策の必要性があるのは経済学部です。中レベルの正誤、史料問題、グラフ問題、60~100 字論述などがあり、この講座が必須です。その他の3学部は、頻出用語・頻出分野と単元を潰し、最後の狙い目を講座の中でチェックしていく形になります。但し、テキストはオリジナルのモノではなく、問題しか入っていませんので、重要データや予想問題などは補助プリントの形で授業前に配布していきます。経済学部は必ず、英語ができれば法学部もできる限り受講を、その他2学部以上受験するのであれば受講しましょう。

③ 上智大世界史予想問題演習(2コマ) *受験者大必修*

過去問を見たことある人ならば、この大学の特殊さがお分かりでしょう。夏期講習の早慶上智対策講座でもお話したように、世界史は受験者平均を越えなければ、世界史得意者や日本史・数学選択者に大きく水をあけられてしまいます。

この講座を取る・取らないとでは大きな差が出ることは、この講座のテキストと過去問を見比べて頂ければ分かります。年代・写真・地図・正誤などの特殊な出題方法に対する対策方法、頻出用語・分野・単元の掲載は勿論、予想問題も掲載してあります。英国どちらかが苦手な人は何としてでも世界史で得点しなければ合格は見えてきません。この講座に最後のレベルUPを託して下さい！

④ 明治・立教・青学・中央大世界史予想問題演習(それぞれ2コマずつ:生授業なし)

MARC4大学それぞれのすべてのデータをテキスト内に揃えました。頻出単元のチェックポイントを授業内で解説する他、文化史データ、戦後史データ、全大学頻出特殊テーマ・予想問題も掲載し、今年の狙い目をチェック・解説していきます。講義中心の講座です(演習は自宅で)。

第1・2志望ならば必ず取りましょう。同大学2学部受験以上の受験ならば必ず取りましょう。特に明治・立教は傾向が強い大学です。英国に難を抱えている者は、この対策授業で世界史を1点でも多く獲得する道具にして欲しいと思っています。世界史ならば、当たれば取れる！これを信じて下さい！

⑤ その他の対策講座

1:東大 - ◎

2:一橋 - 社会◎、その他の学部△(数学のデキ)

3:東外大 - △(850 点中 500 点が英語、世界史は 150 点でスタンダードな 18 世紀以降の問題)

☆2☆こんな人はこう取れ！

問1: I期の2講座はどう選ぶ？

◆私立志望得意者◆

- ①早慶上智 ②テーマ史 OR 難関校戦後史

◆私立志望普通◆

- ①テーマ史 ②正誤対策救世主(メシア) OR 難関校戦後史

◆私立志望苦手者◆

- ①正誤対策(メシア) ②テーマ史

◆センター重視者◆

- ①正誤対策(メシア) ②センター対策

* 初心者 & ダメダメならば、『センター対策』がよい。

◆国公立志望者◆

- ①テーマ史(論述に必要) ②正誤対策(メシア)・・・基礎力確認

* センター不安・世界史苦手者は、②正誤対策へ

問2:取りたい講座が多い場合や悩んでいる場合は？

- ①夏期の文化史・高頻出戦後史のフレックスは12月中には受講しましょう。
②正誤対策(メシア)は半端ない予習量ですが、総復習はこのメシアに合わせてやるのも良いでしょう！
④センターでとりあえず高得点を！と考えるならば、難関校戦後史は、センター後の受講で！
⑤II期は複数受講に問題なし。ただし、テーマ史・正誤対策などが知識になっていることを前提としたい！

問3:このレベル&この志望者はこれを取れ！

- 不安者(偏差値60以下は必須)は正誤対策(メシア)
→巧者は戦後史(1945年以降の各国史)で差を付ける
→論述はテーマ史で戦える！
→MARC予想・・・同大学2学部以上受験する場合は必須
→早大予想・・・1学部でも合格したいと思うならば必須(文・文構しか受験しないのならば必要なし)
→慶応予想・・・経済学部は絶対！商学部のみなら入らない！
→上智予想・・・どの学部を受けるにしても、必ず受講しましょう。特に2～4日目は世界史勝負です！

※大学対策講座は上手に複数受講できるように設置してあります。必要と在らば、他校舎に足を運ぶなり、地方の受験生やサテ予備受講者は都心まで出てくる価値は大いにあります。直接相談もできることもメリットです。悔いを残さないためにも、ワラをもつかむつもりで、受講して下さい！決して、受講して、後悔はさせません！